

# 朝倉市の将来を担う子供たちが

## 暮らしやすい施策を問う

質問者11人、傍聴者68人

一般質問は、年4回開催される定例会の中で行われます。

ここに掲載したものは抜粋ですので、全文につきましては、会議録を閲覧されるか、市議会のホームページでご確認ください。

### 重松 一英 議員

質問項目

- 1 桂川流域の治水対策について
- 2 学童保育所の現状について



**Q** 3年前の九州北部豪雨災害では、蟬城地区の約半分が水没し農作物などが甚大な被害を受けた。豪雨災

害の後、これまでに行った事業、これから取り組もうとしている事業は。

**A** 国の事業では、筑後川本川の河道掘削を行い洪水時の河川の水位を低減し、安全確保を図っている。県の事業では桂川のかさ上げ、川幅拡張および河川掘削の3事業を行っている。

**Q** 桂川の水門への強制排水ポンプ設置が1番望ましいが、困難であれば第2、第3の方法を検討し、県や国に陳情すべきではないか。先人の築いた長田川の工法などのすばらしい方法があるはずである。

**A** 桂川改修工事の事業促進及び内水排除対策については、毎年、県、九州地方整備局、国土交通省および財務省へ要望活動を行っている。

**Q** 平成27年4月から子

育て支援制度が施行された。

蟬城の学童保育所設立の陳情を行ったが、設立には至らなかった。市の考えは。

**A** 学童保育所は安定した運営がなされるべきとの考えから、希望者は10名以上が望ましいと考えている。

10名を下回る地域においても、子供たちの安心・安全と健全な育成を図る上で、何らかの居場所づくりが必要であることは認識しており、どのような方法がよいのかを地元や保護者会、コ

### Q 桂川流域の治水対策は

**A** 内水排除対策の早期実現に向け、要望を行っている



2度と水害を出さないまちづくりを

ミュニティとも継続して協議したいと考えている。

### Q 杷木新設小学校の安全対策は大丈夫なのか

A 排水対策については、その時がきたらやる

なっていた。区も今とは違  
うと思われる。

「共助」の最小の行政単  
位である区への加入につ  
いて、現在、市はどう対応  
しているか。

#### 富田 栄一 議員

- 質問項目
- 1 共助の課題とこれからについて
- 2 庁舎建設と人口増政策について
- 3 新設学校建設について

A 行政サービスは、区に  
加入していることを原則と  
している。加入をお願いす  
る立場で動いている。また、  
人口減少対策については「創  
生会議」を基本にして施策  
を考えていく。

#### 新庁舎建設について

Q 財政的に新庁舎建設後  
の大型事業は考えにくい。  
下層階に公共交通の駅、  
そして庁舎、その上階には  
居住施設を建設するなど、  
新庁舎建設において地域活  
性化案は検討したのか。

A 財政的に合併特例債の  
ある平成32年までに完成す  
るという制約がある。

様々なものを検討しなが  
ら良い形で作り上げたい。

Q 朝倉市は合併10周年を  
迎える。これまでの10年を  
振り返り、これからの10  
年を考えた。平成18年3月  
の年齢別人口と平成27年4  
月の推計データを比べたと  
ころ、若者の人口減少は著  
しく、全く違う市のように



#### 区への加入について

#### 杷木新設小学校について

Q 急傾斜地安全対策事業  
の完成は新設小学校が完成  
してから1年以上後にな  
る。

教育委員会は保護者に対  
して、安全安心についての  
説明をいつするのか。

A P T A会長、副会長へ  
説明を依頼している。

Q 学校において、ゲリラ  
豪雨の予報があった時のマ  
ニュアルはどうなっている  
のか。

A 平成24年の豪雨の時の  
ような、特別なマニュアル  
はつくっていない。

朝倉市平成27年4月年齢別人口より  
(20年後の0～20歳人口を2割減で予測し、  
現在の21～40歳の人口と比較したもの。)

中学校区	0～20歳		A(2割減) / B
	A(人)	B(人)	
秋月	535	564	76%
甘木	4,472	4,930	73%
南陵	1,586	1,740	73%
十文字	1,063	1,343	63%
比良松	1,290	1,558	66%
杷木	1,169	1,317	71%
総計	10,115	11,452	71%

10年前、そして10年後

Q 国民健康保険税が高く

て支払えない世帯への窓口  
での対応は。

A 低所得者層には保険税  
の7割、5割、2割軽減の  
措置がある。

Q 今後、保険者支援制度  
の拡充として1700億円  
を国が財政支援するが、朝  
倉市にはいくら支援される

のか。

A 平成30年度から財政制  
度の都道府県への一元化が  
行われることとなつてお  
り、改革プログラムとして  
国民健康保険に対する財政  
支援の拡充、また、それ  
による国民健康保険財政の構  
造的な問題の解決および低  
所得者における保険税軽減  
の拡充の3点が柱となつて  
いる。

#### 地域公共交通について

Q 平成26年度第4回朝倉  
市地域公共交通活性化協議  
会での朝倉市地域交通網形  
成計画素案には、三輪線、  
小石原線および宝珠山線な  
どのバス路線廃止の検討が  
必要と書かれているが、代  
替交通をどう考えているの  
か。

A 仮に路線廃止となれ  
ば、市民ニーズなどを見き  
わめ、必要な時に代替交通  
を行う。

#### 住宅リフォーム補助 事業について

Q 今年度から始まった住  
宅リフォーム補助事業は、  
現在、何件の申し込みがあ  
り、総額いくらになつてい  
るのか。

A 現在16件、194万円  
の利用である。

Q 今後、申し込みが増え  
予算を超えた場合、どのよ  
うに対応するのか。

A 予算には地域住民生活  
等緊急支援のための交付金  
を活用しており、事業効果  
等を見ながら検証して決め  
たい。

### 和田 庄治 議員

- 質問項目
- 1 国民健康保険税について
- 2 地域公共交通について
- 3 住宅リフォーム制度について



### Q 国民健康保険が社会保障制度である認識は

A 貧富に関係なく医療を受けられる大事な制度



市民の足を守る公共交通

### Q 子どもの貧困と教育格差是正について問う

**A** 格差がつかないように取り組んでいく

傾向にある。

**Q** 受給割合も前年から0.6ポイント上昇し、貧困化が進んでいる。子どもの貧困と教育格差についてはどうか。

### 大庭 きみ子 議員

質問項目  
1 教育行政について  
2 人口減少対策について



**Q** 平成24年の子どもの貧困率は16.3%、6人に1人が貧困状態に置かれている。母子世帯では54.6%を超えている。朝倉市の実態を尋ねる。

**A** 平成26年度の就学援助受給者数は小中学生で660人、15.4%で増加

戦後70周年を迎え、平和教育への取り組みについて

**Q** 8月6日だけでなく、様々な戦禍をつないで、平和の大切さを伝えて欲しい。

「語り部」の方の話や、体験談をつづった冊子が作られているので、平和教育で活用すべきではないか。

**A** 体験談など、今でないと伝えられない事もあるので、大事にしながらきちんと受け継いでいきたい。



子どもの貧困対策には周りのネットワークが大切

**Q** 市長の最重要施策に「災害に強いまちづくり」がある。

平成24年7月、朝倉市は経験したことのない豪雨災害に遭った。市には土砂災害警戒区域が数多くあり、集落も点在している。また、真砂土質のため非常に危険



### 梶原 康嗣 議員

質問項目  
1 防災・減災について  
(大丈夫か災害に強いまちづくり)  
2 朝倉市が発行・管理する冊子、パンフレットについて

だ。土砂災害対策のハード事業として急傾斜地雨壊対策事業があるが、その目的は何か。

**A** 災害から市民の生活を保護し、民生の安定と国土の保全等に資することを目的としている。

**Q** 事業には定義、採択の条件がある。それは何か。

**A** 急傾斜角が30度以上の土地で高さ5m以上、関係戸数が5戸から10戸未満は県の単独補助事業で対応し、市が施工する。高さ10m以上、戸数10戸以上は国費事業で県が施行する。

**Q** 採択条件に該当しない地域は、どの事業で施工するのか。

**A** 農林課分の治山事業で対応し、朝倉農林事務所や県の担当部署と協議している。

**Q** 急傾斜雨壊危険区域に

関する費用負担、物件などの補償はどうなっているのか。

**A** 県の単独事業であれば市50%、県50%で費用負担し、地元負担はない。工事に係る用地は寄附とし、市の名義となる。物件は保障基準により適正に算定補償する。

**Q** 今後、合併特例債がなくなったら、市は何の財源をもって事業に対処していくのか。

**A** 現在、合併特例債で対応しているが、今後は違う起債への変更も必要である。



急傾斜地事業で市民の生活を保護

### Q 防災減災、大丈夫か災害に強いまちづくり

**A** 全ての事業で安心な生活を保護する